



## 第11回 学校応援団交流会

7月9日(土)、はびすしらおかにて3年ぶりに「町ぐるみ白岡」主催の学校応援団交流会が開催されました。市内小中学校の校長・教頭先生方、PTA、学校応援団の方々、約40名が参加して、一昨年度発足した南小・中学校コミュニティ・スクールの事例発表から、実際の取り組みについて学びました。

### コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは?

「学校運営協議会」を設置している学校で、「開かれた学校」からさらに一步踏み出し、「地域とともにある学校」をつくることを目的とした新たな制度です。地域でどのような子どもたちを育てるのか考え、小・中学校と地域が一体となって子どもたちを育てる学校づくりを目指します。昨年度までに、菁莪小・中学校と南小・中学校コミュニティ・スクールが発足し、令和4年度には全学区で発足しました。



### 南小・中学校コミュニティ・スクールの事例

●令和2・3年度の取り組み例…地域をよく知っている方々に委員になっていただき、学校・地域・家庭が抱えているそれぞれの課題を出し合い、重点テーマを決め、具体的な取り組みを策定しました。

#### ★「ノー・ゲーム ノー・テレビ ノー・スマホデー」の実施

リーフレット配布や学校だより・ホームページで、中学校のテスト期間は家族みんなで電子メディアから離れよう、と呼びかけました。

生徒、教員、保護者の意識の高まりにつながりました。

#### ★わんわんパトロール用トートバッグの作成(デザイン:小学生 作成:中学生)

多くの地域の方に気軽にご協力いただけるようになり、下校時の見守りがより充実しました。

●令和4年度の取り組み例…「目指せ不登校<sup>ゼロ</sup>」の実現をテーマに、保育園・幼稚園の先生、心療内科の医師、スクールソーシャルワーカーなど専門の方の参加をお願いし、意見を交換しました。

南小・中学校連携 みんなで一緒に「ノー・ゲーム ノー・テレビ ノー・スマホデー」に取り組みます。

大人も子どももゲームをしない、電子メディアへの接続時間等を極力減らし、その時間を他の活動に充てます。  
ゲームをしない、テレビを「家族活動」や「読書活動」に替えます。「白岡市」子どものネット利用調査の結果、家庭における子どもがネット利用に際して保護者からの同意を得るものが多いです。



### 参加者の声

- ・小中連携は必要と強く感じました。子どもたちの良き未来のため、行動していきたいです。
- ・コロナ禍において、始まったばかりの活動が制限されるという不遇の中、委員の皆様の頑張りがよくわかりました。自分の携わった活動の目的が紹介され、改めてその意義をきちんと理解でき、うれしかったです。
- ・保護者として、子どもたちの持つ様々な課題をきちんと把握されている先生方に安心しました。今後のコミュニティ・スクールの活動に期待しています。
- ・「目指せ不登校<sup>ゼロ</sup>」について、専門家の方が協力してくださっていると聞いて、とても心強く思いました。不登校のお子さんの居場所を作ってあげることも大切なのではないかと思いました。

始まったばかりのコミュニティ・スクールとは、子どもたちや地域の輝く未来を創るために、「誰かが何とかしてくれる」と思うのではなく、学校だけ、家庭だけ、地域だけで対応するのではなく、地域社会全体で力を合わせて学校運営に取り組んでいくための制度なのですね。まだ手探りの状態ではありますが、一歩ずつ歩いていってほしいです。



# みんなあつまれ!! わいわいコンサート♪

秋晴れとなった10月23日(日)、コミュニティセンターで、「みんなあつまれ!!わいわいコンサート♪」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりの開催となりましたが、多くの鑑賞者にお集まりいただき、本格的なクラシックの名曲から馴染みのあるアニメの主題歌まで計11曲を、家族で楽しむ様子を見ることができました。

演奏者の石川悠子さん、石川理史さんは新白岡出身の姉弟アーティストで、わいわいコンサートには初出演となりますが、軽快なトークや興味を引くクイズなどで、子どもたちを存分に楽しませていただきました。

会場の皆様に今回参加したきっかけを伺うと、「幼稚園からのチラシで知った」という方や、「市の広報を見て申し込んだ」といった方がいらっしゃいました。

また、今回初めて参加したというご家族からは、「どうしてもおとなしくしていただけないため、興味があっても未就学児を演奏会などに連れていくことはできませんでしたが、このコンサートは乳幼児向けということで、本当に有難いと感じました。子どもたちが知っている曲も多く、子ども自身が興味をもってくれて嬉しかったです。」とのお声をいただきました。

コンサート終了後には、何か感じるものがあったのか、ロビーに置いてあるピアノを弾く子どもの姿があり、素晴らしい音色がロビーを包んでいました。



石川悠子さん、理史さん



クイズの様子「弦は何の動物の毛かな？」

## ♪♪参加者のアンケートより♪♪

- ・5歳の娘と一緒に楽しめる貴重なコンサートでした。ピアノとチェロのハーモニーが素敵でした。子どもが知っている歌もたくさん流れて楽しめました。
- ・有名なクラシックの曲から楽しい曲までいろいろ聴けて良かったです。楽しいメロディーも、ピアノとチェロの音色も、とってもステキでした。子どもも自分から手拍子したり、体を揺らしたりして楽しんでいたので、また参加したいと思いました。
- ・子どもの好きな曲だけでなく、本格的なクラシックも聴けて大変良かったです。また開催してほしいです。

アンケートに回答いただいた23組すべての参加者から、『このようなコンサートがあったらまた参加したい』と、大変ご好評をいただきました。



チェロとピアノのデュエット



会場の様子





# ひこべえの森 冬のつどい

師走も半ばを過ぎ、最強寒波が襲来した12月17日(土)、今年もひこべえの森(彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森)で「冬のつどい」が開催されました。

ひこべえの森は、市内に残された貴重な平地林として、埼玉県レッドデータブックに掲載された植物も多く見ることができます。厳しい冷え込みの中、熱い心を持ったボランティアの方々が、駐輪場付近の落ち葉清掃、焼き芋の準備をしているところへ、参加者が集まり、冬のつどいが始まりました。

まずは、自然観察会のスタート。自然観察指導員の奥野さんと森の保全活動をしている『白岡緑と土の会』の久保木さんご夫妻から、この森の保全には人が積極的に関与することで、生態系が維持され、多くの動植物が育まれていることを教えていただきました。

自然観察会の後は、森の清掃活動です。森の中の落ち葉や枯れ草を集めて落ち葉溜めに運んで運んで…、作業後には森の中がスッキリきれいになっていました。集められた落ち葉は1年も経つといわゆる「腐葉土」になり、カブトムシの幼虫などの快適な住処になるそうです。

次は記念の植樹。今回はヤマツツジを10株植えました。しっかり根付いて、きれいな花を咲かせて欲しいですね。

最後はお楽しみの焼き芋タイム！作業終わりに食べる焼き芋はとても甘く温かく、参加者たちの心を満たしてくれました。



熊手で落ち葉集め



焼き芋あま〜い♡



最後はみんなでハイ！チーズ！

## 【参加者インタビュー】

- ・中学校に開催の連絡が来たので募集をかけたところ、興味を持った生徒が多くいたため、一緒に参加しました。自然を通して学ぶことは学校生活でもなかなか体験できないため、生徒たちも楽しんでいました。来年も是非生徒たちと参加したいと思います。
- ・おやじの会経由で子どもと一緒に参加しました。疲れたけれどとても楽しかったし、焼き芋も美味しかった。来年も参加したいです。

## \*久保木さんより\*

「森から学ぶことは多く、ここから動植物の生態系問題、地球温暖化などの環境問題にも発展していくので、イベントが自然を学ぶきっかけになってくれれば嬉しいです。『白岡緑と土の会』では、こういうことを仕事としてではなく好きでやれる人、子どもたちのために一緒に活動してくれる人を募集しています」

## 白岡緑と土の会 ボランティア募集!!

本会は、市内に残された雑木林などの、貴重な緑地の保全とその利用を図る活動をしています。特に、会員自身が白岡市の自然を知ると共に、それを市民に紹介することで、将来の環境保全を担う子どもたちの環境意識を高め、ふるさとの自然に愛着と誇りをもって後世に伝えていけるように活動しています。

皆さんも一緒に活動してみませんか。

白岡緑と土の会  
久保木 080-5060-2039

## な か ま



## 白岡ライオンズクラブ

白岡ライオンズクラブは、世界最大の奉仕団体であるライオンズクラブ国際協会に所属する単位クラブで、1977年に結成され、「We Serve われわれは奉仕する」をモットーに、より良い社会の実現を目指して人道奉仕活動を続けてまいりました。

主な活動として市内小中高校での薬物乱用防止教室、年3回の献血事業、カンポジアでの井戸掘り環境事業、市内友好4団体への活動資金寄付事業、フードパントリーへのジャガイモ提供事業を行っております。



コロナ禍により市内のイベントも中止になり、活動の場が減っておりましたが、アフターコロナを見据えて少しでもコロナ禍により困っている方々の力になれるよう、準備・活動することが当クラブの使命であると思い、今後も奉仕活動を進めてまいります。



子育て  
カフェ

今回は、子どもに関する悩みを相談できる身近な存在であるにも関わらず、意外と知られていない「主任児童委員しゅんじゆうじゆうい」について特集します。

今年度「主任児童委員会」の正副代表を務めている佐々木由規子さん、西村恵子さんにお話をうかがいました。(以下敬称略)

主任児童委員の役割を教えてください。

佐々木 主任児童委員は、民生委員の中でも主に子どもに関する地域の問題のサポート役として厚生労働大臣から委嘱されています。

対象は妊婦さんから、乳幼児、小中高校生の児童生徒まで、保護者や子ども本人、地域の方からの相談を受けて話をきいたり、必要があれば、児童相談所などの行政機関につないだりします。

どんな思いで主任児童委員を務めていますか。

佐々木 登下校の子どもたちの様子を見ながら声をかけたり、おうちの人から子育てのグチをきいたり、昔はたくさんいた近所のおせっかいおばさんみたいになれたらいいなと思います。

西村 悩みをきいてもらうだけで、心のモヤモヤが晴れてスッキリすることがありますよね。身近な相談相手として、ぜひ私たちを活用してほしい。

今までにどんな相談がありましたか。

佐々木 子どもが学校へ行かないと言っている、と困惑した保護者からの相談を受けたことがあります。そのときはじっくり話をきくことで、ご本人が落ち着かれて、私が解決に向けて動くことはなかったのですが、場合によっては、学校へ一緒に相談にうかがうケースもあります。

西村 コロナ禍になって、孤立した状態で子育てをされている方が増えました。何かあったら一人で抱え込まず、問題が大きくなる前に相談してほしいですね。



主任児童委員に相談したい場合はどうすればよいですか。

佐々木 白岡市役所(0480-92-1111)福祉課の社会福祉担当へ、主任児童委員に相談したいとご連絡ください。

地域ごとに主任児童委員が置かれています。住所とは別の地域の委員に相談することもできます。相談内容などの秘密は厳守しますので安心ください。

### 白岡のかがやきびと

岩上由美子さん

岩上さんは、南小学校で読み聞かせボランティアを10年間続けられています。「私が読み聞かせボランティアになったのは、現在高校生の娘が小さいときに、市立図書館のおはなし会に参加したのがきっかけです。目をかがやかせて聞いてくれる子どもたちの笑顔はもちろん、長く続けていると、学年が上がるにつれてリアクションが変わってきて、成長を見守れるのもやがてのひとつ。また、終了後にメンバーの皆で本について話をするのも、とても楽しいひとときです。」

季節の飾りつけや本の修繕もお手伝いくださり、子どもたちが気持ちよく過ごせる南小図書室づくりになくてはならない存在です。「今のメンバーはほとんどが卒業生保護者なので、在校生保護者のご参加をお待ちしています。ぜひ一緒に活動しましょう。」



岩上 由美子 さん

私たちは「町ぐるみん白岡」の活動を応援しています。

- 株式会社サンワ環境開発
- 白岡蓮田環境事業協同組合
- 白岡ライオンズクラブ
- 大成ラミック株式会社
- テクノパーク白岡協同組合
- 株式会社トムス
- 有限会社西野商事
- 日産化学株式会社

(敬称略、五十音順)

発行：「町ぐるみん白岡」  
編集：「町ぐるみん白岡」広報委員会  
白岡市いきいき教育課  
問合せ：0480-92-1111 内線 272